

# 「父・三船敏郎の素顔を語る」

## — 没後20年を迎えて —

～・第3回講演会・～



2016年にハリウッド殿堂入りを果たした映画俳優スター・三船敏郎。三船は、黒澤明や稲垣浩ら名監督たちと組んで数々の傑作を世に送り出し、『羅生門』(1951年)と『宮本武蔵』(1954年)が米アカデミー賞名誉賞、『用心棒』(1961年)と『赤ひげ』(1965年)でベネチア国際映画祭主演男優賞を受賞するなど、その類まれな身体性を活かした迫力ある演技は国内外で評価されています。さらには自身のプロダクションを設立して主演作を製作するなど、映画とともに生涯を送りました。この講演では、ご子息である三船史郎氏に、没後20年を迎える今だからこそ語ることのできる父・三船敏郎の、映画にかける姿やプライベートの様子などを聞き手の小河原あや氏とともに伺っていきます。

講演者 三船史郎氏 俳優・映画プロデューサー  
三船プロダクション代表取締役  
とき 2017年12月2日(土)  
ところ 成城大学7号館007教室(4階)

本日の  
予定

14:00～15:00	講演①
15:00～15:20	休憩
15:20～16:00	講演②

### 三船史郎(みふね しろう)氏 プロフィール

1950年東京世田谷区生まれ。1969年成城学園高校を卒業、成城学園大学経済学部入学。1970年に出目昌伸監督作「その人は女教師」でデビュー、続いて三船プロダクション製作「二人だけの朝」(1971)に出演。1999年には黒澤明監督の遺稿脚本「雨あがる」(小泉堯史監督)に和泉守重明役で出演し2001年度日本アカデミー賞優秀助演男優賞を受賞。2006年に「バルトの楽園」(出目昌伸監督)に出演。現在三船プロダクション代表取締役を務める。

聞き手：小河原あや氏(成城大学非常勤講師)

成城 学びの森 コミュニティー・カレッジ秋冬講座  
「世界のミネ」講師

## 「父・三船敏郎の素顔を語る 一没後20年を迎えてー」

### ◆学生時代

お住まい、馬術部、映画デビュー……

### ◇三船敏郎のハリウッド殿堂入り

### ◆父・三船敏郎の思い出

軍隊時代、自動車好き、洪水救助、セスナ機飛来、お酒好き、成城近辺の映画俳優や監督たちとの付き合い……

### ◇俳優・三船敏郎

台詞の暗記、身体面での練習、殺陣……

### ◆黒澤明との仕事

黒澤作品出演時の思い出、プライベートの交流、「黒澤のバカヤロー事件」、その後のお付き合い……

～・休憩・～

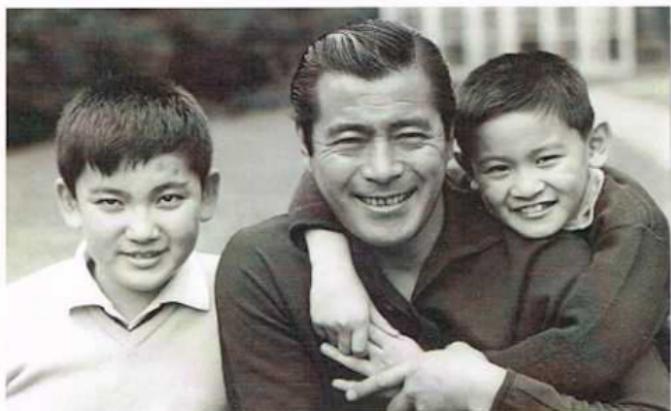
### ◇外国映画出演時

日本の紹介、台詞の暗記、『STAR WARS』、「UCLAメダル」授与……

### ◆三船プロダクション設立

設立の経緯、『五十万人の遺産』……

### ◇『MIFUNE THE LAST SAMURAI』



ご清聴ありがとうございました。



## 成城大学生涯学習支援事業 「成城 学びの森」

■ コミュニティー・カレッジ ■ オープン・カレッジ

成城大学企画調整室（大学2号館2階）TEL. 03-3482-9031/FAX. 03-3482-9467

お問い合わせ 月～金 8:30～16:30 E-mail: [manabi@seijo.ac.jp](mailto:manabi@seijo.ac.jp)

土 8:30～13:00 URL: <http://www.seijo.ac.jp>

## ◆◇◆ 三船敏郎・略歴 ◆◇◆

1920 (大正9) 年	4月1日、中国山東省青島生まれ。
1925 (大正14) 年	5歳のとき大連に移り住み、父・徳造が「スター写真館」を開業。
1940 (昭和15) 年	20歳で召集を受け、満州陸軍第七航空隊に入隊。 写真部に配属され、航空写真を扱う。
1945 (昭和20) 年	熊本県隈之庄の特攻基地に転属、25歳のときに終戦を迎える。
1946 (昭和21) 年	東宝撮影部の知人・大山年治を頼り、カメラマン助手の仕事を求めて履歴書を提出。 これが第1回ニューフェイス募集に回って俳優として補欠採用となる。
1947 (昭和22) 年	谷口千吉監督の説得により、『銀嶺の果て』で意に反して映画俳優の道を歩み出す。 ※『銀嶺の果て』(東宝/共演:志村喬、小杉義男、若山セツ子)
1948 (昭和23) 年	黒澤明監督から『酔いどれ天使』の主役の一人に抜擢され、 これが大評判を呼び、人気が沸騰。 ※『酔いどれ天使』(東宝/共演:志村喬、山本礼三郎、木暮実千代)
1951 (昭和26) 年	31歳の時、出演した『羅生門』がベネチア国際映画祭のグランプリを受賞。国際俳優としての第一歩を踏み出す。
以降、ここに記すまでもない活躍を見せ、 1986 (昭和61) 年には紫綬褒章を受章するとともに、米カリフォルニア大LA校から、 名誉学位に当たる「UCLA」メダルを受ける。	
1993 (平成5) 年	73歳にて勲三等瑞宝章を受章。
1997 (平成9) 年	77歳で死去、2017 (平成29) 年12月24日に、没後20年を迎える。

### 【海外】

## ◆◇◆ 三船敏郎・受賞一覧 ◆◇◆

1951 (昭和26) 年	ベネチア国際映画祭グランプリ『羅生門』 (大映/監督: 黒澤明 共演: 京マチ子、森雅之、志村喬)
1954 (昭和29) 年	ベネチア国際映画祭銀獅子賞『七人の侍』 (東宝/監督: 黒澤明 共演: 志村喬、加東大介、宮口精二、千秋実、木村功、稲葉義男、津島恵子、島崎雪子、土屋嘉男)
1955 (昭和30) 年	アカデミー外国語映画賞『宮本武蔵』 (東宝/監督: 福垣浩 共演: 八千草薫、岡田茉莉子、三國連太郎)
1957 (昭和32) 年	リスボン映画祭特別賞『蜘蛛巣城』 (東宝/監督: 黒澤明 共演: 山田五十鈴、千秋実、浪花千栄子)
1958 (昭和33) 年	ベネチア国際映画祭グランプリ『無法松の一生』 (東宝/監督: 福垣浩 共演: 高峰秀子、芥川比呂志、笠智衆)
1959 (昭和34) 年	ベルリン国際映画祭国際批評家連盟賞『隠し砦の三悪人』 (東宝/監督: 黒澤明 共演: 千秋実、藤原釜足、上原美佐)
1961 (昭和36) 年	ベネチア国際映画祭主演男優賞『用心棒』 (東宝/監督: 黒澤明 共演: 仲代達矢、東野英治郎、山田五十鈴)
1962 (昭和37) 年	ゴールデングローブ賞 シルバーグローブ『価値ある男』 (エキシコ映画/監督: イスマエル・ロドリゲス)
1965 (昭和40) 年	ベネチア国際映画祭主演男優賞・国際カトリック映画事務局賞 ／サン・ジョルジュ賞・ベネチア市賞『赤ひげ』 ▼裏面に続く▼

## 【海外】つづき

## ◆◇◆ 三船敏郎・受賞一覧 ◆◇◆

1965（昭和40）年	モスクワ映画祭ソ連映画人同盟賞『赤ひげ』 (東宝/監督: 黒澤明 共演: 加山雄三、山崎努、二木てるみ)
1967（昭和42）年	ベネチア国際映画祭国際映画批評家連盟賞『上意討ち 拝領妻始末』 ニューヨーク映画祭優秀作品賞『上意討ち 拝領妻始末』 ロンドン映画祭優秀作品賞『上意討ち 拝領妻始末』 (三船プロ=東宝/監督: 小林正樹 共演: 加藤剛、司葉子、仲代達矢)
1981（昭和56）年	エミー賞主演男優賞ノミネート『將軍』 (アメリカ映画/監督: ジェリー・ロンドン 共演: リチャード・チャンバレン、島田陽子、フランキー堺)
1989（平成元）年	ベネチア国際映画祭銀獅子賞『本覚坊道文 千利休』 (西友=東宝/監督: 熊井啓 共演: 奥田瑛二、萬屋錦之介、加藤剛)

## 【国内】

## ◆◇◆ 三船敏郎・受賞一覧 ◆◇◆

1951（昭和26）年	ブルーリボン主演男優賞 『馬喰一代』(大映/監督: 木村恵吾 共演: 京マチ子) 『女ごころ誰か知る』(東宝/監督: 山本嘉次郎 共演: 池部良)
1957（昭和32）年	毎日映画コンクール主演男優賞 『蜘蛛巣城』『どん底』(東宝/監督: 黒澤明 共演: 香川京子) 『下町』(東宝/監督: 千葉泰樹 共演: 山田五十鈴)
1961（昭和36）年	ブルーリボン主演男優賞及び特別賞 『用心棒』『価値ある男』 キネマ旬報男優賞 『用心棒』『大阪城物語』(東宝/監督: 稲垣浩 共演: 平田昭彦)
1962（昭和37）年	日本映画記者会最優秀男優賞 『用心棒』『価値ある男』
1965（昭和40）年	ブルーリボン主演男優賞 『赤ひげ』
1966（昭和41）年	ブルーリボン特別賞 『グラント・ブリ』出演など国際的活躍により (アメリカ映画/監督: ジョン・フランケンハイマー 共演: ジェームズ・ガーナー)
1967（昭和42）年	芸術選奨文部大臣賞 『上意討ち 拝領妻始末』『グラント・ブリ』
1968（昭和43）年	キネマ旬報男優賞 『黒部の太陽』(石原プロ=三船プロ/監督: 熊井啓 共演: 石原裕次郎) 『連合艦隊司令長官 山本五十六』(東宝/監督: 丸山誠治 共演: 加山雄三) 『祇園祭』(中村プロ/監督: 山内鉄也 共演: 中村錦之助)
1969（昭和44）年	文部省青少年映画賞優秀作品賞 『黒部の太陽』
1986（昭和61）年	文部省青少年映画賞優秀作品賞 『風林火山』 (三船プロ=東宝/監督: 稲垣浩 共演: 中村錦之助、佐久間良子、石原裕次郎)
1987（昭和62）年	紫綬褒章 芸術活動に対して
1988（昭和63）年	ブルーリボン助演男優賞 『男はつらいよ 知床慕情』(松竹/監督: 山田洋次) 共演: 渥美清、淡路恵子
1995（平成7）年	毎日映画コンクール男優助演賞 『男はつらいよ 知床慕情』
1997（平成9）年	日本アカデミー賞優秀助演男優賞 『男はつらいよ 知床慕情』 『竹取物語』(東宝/監督: 市川崑 共演: 沢口靖子、若尾文子)
1998（平成10）年	日本アカデミー賞会長特別賞 国際的大スターとしての活躍により 毎日映画コンクール特別賞 黒澤明作品などの国際的評価により 日本アカデミー賞会長特別賞 世界を魅了した戦後最大の俳優により